

別記様式第2号の1

研究計画概要書

研究課題名		周手術期の月経管理に対する女子看護学生1年生と看護師の認識
研究組織	研究代表者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 臨床看護学講座 教授 池松 裕子
	研究責任者(本学内) (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 臨床看護学講座 教授 池松 裕子
	研究分担者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 4年 門脇 花菜
	共同研究者 (所属・職名・氏名)	なし
	研究事務局 (機関の名称・住所・連絡先)	名古屋大学医学部保健学科 〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20 TEL/FAX 052-719-1567
研究の背景・意義		<p>手術は非日常的な出来事であり、患者に身体的・精神的苦痛を与える。手術日と月経日が重なった場合、手術中・術後安静時の月経管理は医療従事者により行われるため、普段、他者に経血を見られることがまずない患者にとって、これは手術による精神的苦痛に加え、さらに苦痛が増強すると考えられる。</p> <p>カルデナスら<sup>1)</sup>の研究でも、患者の92.5%が手術時の月経を回避したいニーズを持っており、看護師の83.8%は月経周期を考慮した手術日の決定の必要性を認識していた。しかし、実際に手術日を決定する際に、患者の月経の発来を調節していると回答した医師は10.3%であった。患者の多くは手術時の月経を回避したいというニーズを持っているが、そのニーズは反映されておらず、月経時に手術を受ける患者が多数いることは明らかになっている。しかし、このように月経時に手術を受ける患者が多数いるなかで、看護師が手術中・後にどのように経血を管理しているのか、月経管理について患者、看護師がどのように認識しているのか明らかになっていない。</p> <p>&lt;引用文献&gt; 1)カルデナス暁東ほか,月経周期と周術期医療・看護のあり方,母性衛生 48(2),2007,282-288</p>
研究の目的		本研究では、①臨地実習経験のない女子看護学生1年生が、実際に自分が手術を受けることを想定したときの月経に対する認識と、②看護師の周術期の月経管理に対する認識を明らかにする。そこから、周術期の月経管理をするにあたり看護師に求められるもの(ニーズ)は何か明らかにする。

研究対象者の主な選択基準	<p>① 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻に所属する女子学生1年生 約80名(臨地実習経験がなく、実際に自分が手術を受けることを想定したときに、より患者に近い立場で想定できると考えたため。)</p> <p>② 名古屋大学大学院看護学専攻に所属する女子大学院生 約15名(実際に看護師として働いている、働いていた方に調査をしたいと考えたため。)</p>
研究方法(多施設共同研究の場合は、本学の役割・目標症例数も記載)	1年生と大学院生に対し、それぞれの授業後に研究分担者が授業担当教員の許可を得て、独自に作成した無記名自記式質問紙を配布する。質問紙はその場で回収する。
上記のうち研究目的で対象者に実施する事項	<input type="checkbox"/> 情報収集 <input type="checkbox"/> 試料収集 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他
軽微な侵襲を超える侵襲を伴う研究かどうか	<input type="checkbox"/> 伴う (侵襲の内容: ) <input checked="" type="checkbox"/> 伴わない
研究期間	生命倫理審査委員会承認後から平成31年3月31日
インフォームド・コンセントの方法(説明を行う者等)	<input checked="" type="checkbox"/> 行う(方法:研究分担者が、参加の自由意思の尊重、匿名性の担保、データ保管方法について明記した質問紙を配布し、口頭で説明する。 また、質問紙の提出をもって同意とみなす。 未成年の学生については、研究概要書をHPに掲載し、学生の参加に同意できない親権者は052-719-1567(研究責任者)にその旨を伝えることができる。 ) <input type="checkbox"/> 行わない (その理由: )
個人情報の管理体制(個人情報管理者、連結表の管理体制、匿名化の方法等)	個人情報管理者:池松裕子 匿名化の方法:アンケートは無記名とする。 連結表の管理責任者・保管場所:該当せず 保管方法:該当せず
研究で収集した試料・情報・同意書の保管場所、研究終了後の試料の取扱い	<p>① 保管場所:回収した質問紙は、大幸キャンパス南館211号池松研究室にて保管する。また、研究で得られたデータはUSBにパスワードをかけて保存し、パスワードをかけたUSBは大幸キャンパス本館5階学生ロッカー室内の鍵のかかるロッカーで厳重に保管し、本研究以外で使用しない。なお、研究結果を卒論発表会・学会や専門雑誌などに発表する際は、個人が特定できるような情報は発表しない。</p> <p>② 終了後の取り扱い:提供された情報は、池松研究室の鍵のかかるキャビネット内で5年間保存ののち破棄する。</p>
効果安全性評価委員会 (委員の職名・氏名・審査間隔)	該当せず
被験者に重篤な有害事象が生じた場合の対処方法	該当せず